SNSの呼びかけで、500人が御堂筋を歩いた「3・18緊急朝デモ」

「春闘勝利3・15大阪総行動」労働者が徹底究明を訴える

真相究明！ 幕引きアカン！

維新府政の責任重大

小学校設置基準を緩和

学校法人「森友学園」をめぐる財務省の決裁文書改ざん問題が明らかになり、「一大疑獄化」しています。「真相究明せよ」と安倍内閣の退陣を求める世論が高まっています。

「森友問題」は、維新府政が「認可適当」とした判断が発端です。維新府政の責任は重大です。

府庁前緊急宣伝

松井知事へ徹底究明を要請

府職員へは励ましの声

2日間で170人があつまり、大阪府と職員、府民へアピール

3月の府議会開会に合わせて、3月19日と23日の8時半から9時の間にスタンディングアピールが行われました。

各団体が横断幕やプラカードを手に、「松井知事は小学校設置認可の説明責任を果たせ！」「私学審議事録をオープンにせよ！」「責任転嫁するな、職員がんばれ！」の訴えに、職員や府民から共感の声がよせられました。宣伝後、大阪府議会・大阪府・各会派に徹底究明の要請書が提出されました。

森友問題
緊急学習決起集会

「認可適当」はなぜ？
国・府の説明は納得できない！

急なよびかけにも、会場いっぱいの120人が集まりました（大阪市内）

3月28日「森友学園問題の真相究明を求める大阪連絡会」のよびかけで開催された。

集会では、石川たえ府会議員から私学審の認可適当に至る経過が報告され、清水ただし前衆議院議員から安倍政権の文書改ざん問題などが報告されました。リレートークでは、新婦人豊中支部、大阪府職労から職場のリアルな実態などの報告がありました。

幕引きを許さず真相究明へ、府民の声をあげ続けようと確認されました。

5.17
エッまた住民投票!?
大阪市なくしたらアカン
大阪都構想ストップ！24色の元気なまちを
そやね！
府民のつどい

日時 5月17日（木）
開場 18時10分
開会 18時45分

会場 エルシアター
（エルおおさか大ホール）

戦争アカン3000万人署名を職場へ

吹田市職労は3月29日に庁舎前宣伝

「9条まもれ」の声ひろげよう！

3月末現在、大阪で68万筆（全国で660万筆）が集まっています。各単組でも、学習会・地域の集会・街頭宣伝などの取り組み、職場の組合員に署名用紙・ハガキをあずける取り組みがすすんでいます。

春の拡大集中月間

仲間を増やして要求実現を

羽曳野市職労

つながり活かした働きかけを

組織強化・拡大に向けて討議する参加者

組織集会を3月12日に開催。「この間の組織拡大はいずれも、職場の組合員の働きかけによるもの」という教訓が報告され、春の組織拡大月間にむけて、全職場の組織実態を明らかにして、「新規採用者への働きかけ」「未加入者へのつながりを活かした働きかけ」「職場討議・職場活動の活性化」「非正規職員の加入促進」などを参加者全員で討議し、構えと目標が確認されました。

泉佐野りんくう病院労組

給与カット撤回の取り組みが組織拡大へ

労働組合の取り組みに期待を寄せ、届けられた加入用紙

昨年3月病院当局は経営悪化を理由に、一方的に就業規則を変更、4月から賃金カットを強行しました。「こんな理不尽ゆるせない、職員が安心して働けなければ患者の命は守れない」と労基署への通告、賃金カット撤回に向けた要求交渉など、粘り強いたたかいの中で、この4月から賃金カットを撤回。「今後労働条件に関わることは労使合意で行う」と確認しました。

この運動を通して、特に過酷な病棟の看護師15人が「この病棟が働きやすくなれば、他の病棟も変えられるのでは」と加入。この1年間で50人を超える加入となっています。

今月のキーワード

「メーデー」
（5月1日労働者の祭典）

1886年5月1日、アメリカの労働組合が8時間労働制を要求してストライキ・デモ行進を行ったことが起源。日本では、1920年に開催。「8時間は労働、8時間は休息、そして残り8時間は自分たちの自由な時間のために」というメーデー誕生当初の主張は、今も語り継がれています。89回目を迎えるメーデーは、「『8』時間はたらけば普通にくらせるルールをつくろう、『9』条を守り平和な未来を」のよびかけで行われます。大阪市内は扇町公園や、その他の地域で開催されますので、多くの組合員の参加で成功させましょう。

今月のキーワード

「檻の中のライオン」

広島市の弁護士、棟（はんどう）大樹さんが2016年6月に出版した書籍。「ライオン＝国家権力」「檻＝憲法」「ライオンを檻に入れて縛るのが立憲主義」という例え話やイラストで憲法の仕組みを分かりやすく説明した解説書「檻の中のライオン　憲法がわかる46のおはなし」。棟さんは、各地の学習会や憲法カフェなどでこの本をもとに、時にはライオンパペットと相方パペットを両手に講演活動を行い「憲法とは何か？」を考える取り組みを広げています。紙芝居やグッズもつくられ、中学校公民資料集「公民の資料」にも掲載されています。